

オープンデータニーズに関する参考資料

英国のキャメロン首相は、各省庁に対して具体的なデータを指定し、期限を設けて公開するよう指示。(次ページ右列)

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/it_yugo_forum_data_wg/pdf/003_06_00.pdf

一方、世界銀行公開した「オープンデータ度評価ツール」(Open Data Readiness Assessment Tool)のドラフト版では、8つの評価項目のひとつに政府が公開するデータを挙げ、具体的に15の種類 of データセットを示している。(次ページ左列)

<http://personal.crocodoc.com/kUesulc>

参考文献: オープン・ナレッジ・ファウンデーション・日本グループ・ウェブサイトの以下の2つの記事を参考に作成。

「World Bank, オープンデータ度評価ツールを公開」

<http://okfn.jp/2013/01/07/openrediness/>

「データドリブンソサエティ3 市民が関心を持つデータから公開する」

<http://okfn.jp/2012/12/29/datadriven3/>

表 オープンデータに関する市民ニーズの例（世銀のオープンデータ評価ツール及び、英国・キャメロン首相の書簡より）

Open Data Readiness Assessment Tool（世界銀行作成）	英国・キャメロン首相の書簡（第一、第二）
1. 予算（財務省ならびに各省庁ごと）	
2. 個別の支出と補助金（例えば、どの学校が、いつ、どんなお金を得たのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央政府の過去の支出データ ・中央政府における新規の25000ポンド以上の支出データ ・地方政府における新規の500ポンド以上の支出データ ・500ポンド以上の支出に関する政府調達カードの支払データ
3. 統計	
4. 議会（議事録、審議中の法案、成立した法案など）	
5. 調達（誰が何を勝ち取ったのか）と契約（文書と取引の詳細）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央政府における新規のICT関連契約 ・地方政府における500ポンド以上の新規の契約及び入札
6. 公共施設（学校・病院・警察署・公衆トイレ・図書館・政府施設などの場所と利用可能なサービス）	
7. 公共サービスの提供とパフォーマンス（個々の学校・病院・診療所などのレベルで）	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医（GP）の成果を比較できるデータ ・NHS病院への苦情データ ・医療監査データ、特に公的支援を行った医療チームにおけるパフォーマンスの詳細 ・学校の教育パフォーマンスを評価できるデータ
8. 輸送機関（道路や公共交通機関を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在と将来の道路工事データ ・Transport Directのデータ（自転車道、駐車場など） ・道路に関するリアルタイムデータ
9. 犯罪（個々の犯罪とその発生場所がわかるレベルで）	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートレベルの犯罪データ
10. 検査レポート、公式決定と裁定を再利用可能な形式で（例えば、飲食店の公衆衛生検査など）	
11. 正式な登録簿（企業、慈善団体、土地所有者など）	
12. 地理空間情報（地図、住所登録、重要なスポット）	
13. 気象	
14. 建設（許可、規制）	
15. 不動産（売上、物件一覧、税金、その他の不動産関連データ）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・給与が150,000ポンド以上の上級公務員の名前、肩書き等 ・中央政府における全て役職を含んだ組織図（共通フォーマットによる） ・判決文のデータ、匿名化された被告のプロファイル、判決に要した時間